

安全データシート

(SDS)

製品及び製造者情報

製造者名 一般社団法人日本粉体工業技術協会
住所 〒600-8176 京都市下京区烏丸通六条上ル北町181
第5キョートビル7階
担当部署 粉体工業技術センター 製造事業部門
電話番号 075-354-3583 F A X 番号 075-352-8530
E - m a i l : testpowders@appie.or.jp
連絡先 同上
作成日 2015年 9月 17日
改訂日 2025年 6月 18日

製品名 (化学物質名)
サブミクロン領域粒子径分布測定装置試験用粒子
FSTP 0.3-1.5、FSTP 0.2-0.7、FSTP 0.09-0.2 (非晶質シリカ)

危険有害性の要約

[GHS分類]

物理化学的危険性	分類結果
火薬類	該当しない
可燃性ガス	該当しない
可燃性・引火性エアゾール	該当しない
酸化性ガス	該当しない
高压ガス	該当しない
引火性液体	該当しない
可燃性固体	該当しない
自己反応性化学品	分類できない
自然発火性液体	該当しない
自然発火性固体	分類できない
自己発熱性化学品	分類できない
水反応可燃性化学品	分類できない
酸化性液体	該当しない
酸化性固体	分類できない
有機過酸化物	該当しない
金属腐食性物質	分類できない

環境に対する有害性	分類結果
水生環境有害性 短期 (急性)	分類できない
水生環境有害性 長期 (慢性)	分類できない

健康に対する有害性	分類結果
急性毒性 (経口)	分類できない
急性毒性 (経皮)	分類できない
急性毒性 (吸入: ガス)	分類できない
急性毒性 (吸入: 蒸気)	分類できない
急性毒性 (吸入: 粉じん、ミスト)	分類できない
皮膚腐食性/刺激性	該当しない

眼に対する重篤な損傷/眼刺激性	区分 2 B
呼吸器感作性又は皮膚感作性	該当しない
生殖細胞変異原性	該当しない
発がん性	分類できない
生殖毒性	該当しない
特定標的臓器・全身毒性（単回ばく露）	該当しない
特定標的臓器・全身毒性（反復ばく露）	該当しない
誤えん有害性	該当しない

ラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語：警告

危険有害性情報：なし

注意書き：

【安全対策】

粉じんを発生させないように取扱ひ、取扱ひ後には手を洗い、うがいをする事。
粉じんを吸引、また目や口に入るような状況にある場合は適切な保護具を使用すること。

【応急処置】

眼に入った時は、目をこすらず、清浄な水で数分間洗い流す。
皮膚に付いた時は、払い落とし、その部分を水で洗う。
吸入した時は、うがいをし、換気のよい所で深呼吸を繰り返す。
いずれの場合も気分が悪くなったり、異常を感じた時は、医師の診断、手当を受けること。

【保管】密閉できる容器に入れ、湿気のない雰囲気保管すること。

【廃棄】本品、容器を廃棄する時は、許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

組成、成分情報

単一製品・混合物の区分：単一製品

化学名又は一般名：非晶質シリカ（溶融シリカ）

化学成分：SiO₂（非晶質シリカ）99.5%以上

Fe₂O₃、Na₂O、K₂Oなどの微量成分が各々0.1%以下含まれている
結晶質シリカは含まれていない

CAS No.：7631-86-9

官報公示整理番号：化審法 データなし

安衛法 データなし

応急措置

吸引した場合：直ちに、新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息する。
気分が悪い場合は医師の診断を受ける。
眼に入った場合：直ちに清浄な水で数分間洗眼する。痛みや違和感が持続する場合は、医師の診断を受ける。
皮膚についた場合：直ちに水で数分間洗い流し、かぶれや炎症を生じた場合は医師の診断を受ける。
口に入った場合：直ちに清浄な水で口をすすぎ、気分が悪い時は医師の診断を受ける。

火災時の措置

消火剤：本品自体は不燃物である。周辺火災に応じて、水噴霧、粉末消火剤、泡消火剤、二酸化炭素など、適切な消火剤を用いる。
使ってはならない消火剤：火災が周辺に広がる可能性があるため、棒状注水は避ける。
特有の危険有害性：本品の容器は、火災時の高温下で溶融したり、燃える可能性がある。
消火を行う者の保護：周辺の火災に応じて適切な保護具（防じんマスク、保護メガネ、保護衣等）を着用する。

漏出時の措置

人体に対する注意事項：漏出対応作業時には、適切な保護具を着用して漏出物の吸引、眼に入ったり、皮膚への接触を避ける。
環境に対する注意事項：粉じんの飛散や、粉体の河川への流出を防止する。
回収：集じん装置で捕集したり、床面の粉体は掃き集め、密閉できる容器に回収する。

取扱い及び 保管上の注意	取扱い： 飛散させないように、静かに取扱う。吸引したり、眼や皮膚に接触する恐れがある時には、保護具を着用する。 保管： ふたのできる密閉容器に入れ、常温常湿の屋内に保管する。
--------------	--

ばく露防止及び保護措置	管理濃度： 3 mg/m ³ 許容濃度： 総粉塵 8 mg/m ³ 吸入性粉塵 2 mg/m ³
-------------	---

設備対策： 粉じんの飛散の可能性がある場所には局所排気を設け、許容濃度以下にする。局所排気は外部へ飛散しないように、集じん設備を設ける。

保護具 【呼吸用保護具】： 状況に応じ防じんマスクを着用する。
【保護眼鏡】： 状況に応じ防じん保護眼鏡を着用する。
【保護手袋】： 保護手袋を着用した方がよい。
【保護衣】： 状況に応じ保護衣を着用する。

衛生対策： 取扱い後はよく手を洗い、うがいをする。

物理／化学的性質	外観等： 白色、微粉末、無臭 融点： 1650℃ 溶解度： 水に不溶	粒子密度： 2.2 g/cm ³ 引火点： 不燃性
----------	--	---

安定性及び反応性	安定性： 通常環境では熱・光・衝撃に対して安定。 反応性： 水とは反応しないが、強酸化剤やフッ化水素と反応する 本品は不燃物である。
----------	--

有害性情報	急性毒性： 経口、経皮、吸入に関するデータは無く、分類できない。 眼に対する重篤損傷、刺激性： 区分 2B 皮膚腐食性、呼吸器作感性、皮膚作感性： データは無く、分類できない。 生殖細胞変異原性： データは無く、分類できない。 発がん性： ヒトの発がん性は無いとされているが、データは無く、分類できない。 特定標的臓器・全身毒性（単回ばく露）： 該当しない。 特定標的臓器・全身毒性（反復ばく露）： 該当しない。 誤えん有害性： 該当しない。
-------	--

環境影響情報	水生環境有害性： 急性、慢性ともデータは無く、分類できない。 移動性： 微細な粉じんは、空気中に飛散しやすい。 蓄積性： なし 環境影響： 局所排気等で外部へ排出すると粉じんによる環境汚染の恐れがある。
--------	--

廃棄上の注意	飛散防止処置をした上で地方自治体の基準に従って廃棄すること。
--------	--------------------------------

輸送上の注意	運搬に際しては容器等に漏れの無い事を確かめ、転倒、落下、損傷の発生がないように積載し荷崩れの防止を確実に行う。 国連分類： なし 国連番号： なし
--------	---

摘要法令	労働安全衛生法： 粉じん障害防止規則第2条第3号、別表第1（粉じん作業） じん肺法（第2条施行規則第2条第3項別表粉じん作業） P R T R法： 第一種指定化学物質及び第二種化学物質含有 なし 毒劇物取締法： 該当物質の含有 なし 内分泌攪乱物質： 対象物質の含有 なし
------	--

その他
参考文献

・労働安全衛生法に基づくラベル表示・SDS交付等の義務対象物質一覧

- (令和7年(2025年)4月1日施行分) (令和8年(2026年)4月1日追加分)
- ・ J I S Z 7 2 5 2 G H Sに基づく化学品の分類方法 (2019)
 - ・ J I S Z 7 2 5 3 G H Sに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法ーラベル, 作業場内の表示及び安全データシート (S D S) (2019)
 - ・ 日本産業衛生学会:許容濃度等の勧告(2023年度 日本産業衛生学会)
-

【記載事項の取り扱い】

記載内容は、現時点で入手できる資料、情報、データ等に基づいて作成しておりますが、必ずしも充分ではないため、取り扱いには充分注意して下さい。
また、このS D Sは、現在知り得る範囲において誠実に作成しておりますが、これをもって なんら保証するものではありません。ここに記載してある注意事項は通常の手扱いを対象としたものです。特殊な手扱いの場合は、用途・方法に適した安全対策を講じて下さい。

以上 (全4頁)